

第17回 ちゅうでん教育振興助成（平成29年度）

報告書資料 一般 - 48

学校名・団体名	垂井町立垂井小学校
HPアドレス	http://www.mirai.ne.jp/~tes30221/
コース	学校支援
活動・研究 テーマ	生き生きとコミュニケーションを図る子どもの育成
<p>〈活動・研究の意義、目的〉</p> <p>学習指導要領改訂に向け、小学校英語の教科化、時間数増加等、教育課程の抜本の見直し在必至である。そこで、外国語を核とし、効果的・能率的な実践を通して、国や県の研究指定校ではない学校で、「どの学校」「どの教員」でも実践できる英語を発信したいと考えた。特に、英語の免許をもたない教員に対して、不安や負担感を取り除き、英語に夢がもてるような取組を展開した。また、本校の実態を鑑みて、児童が主体的・対話的で深い学びにより、よさを伝え合い、生き生きとコミュニケーションを図る姿を育成することを切望し、研究を推進した。</p>	

1 時期及び内容

- 4月：○全校研究会 研究構想、年間計画の共通理解
○全校研究会 外国語活動に係るオリエンテーション クラスルームイングリッシュに係る研修
- 5月：○全校研究会 外部講師による外国語活動の共通理解及び学習指導要領改訂について
- 6月：○授業研究会 高学年（6年生）による外国語授業研究会
○先進校視察及び県内研修校研究発表会参加
- 7月：○授業研究会 中学年（3年生）による外国語活動授業研究会
○教育課程研究協議会 新学習指導要領の周知
- 8月：○全校研究会 外部講師による外国語活動における主体的、対話的、深い学びの共通理解
○年間カリキュラムの見直し及び研究発表会指導案作成
○校区の小中学校による9年間を見通したカリキュラム作成部会
○教育課程研究協議会の参加者による新学習指導要領に係る伝達講習会
○他校での現職教育における研究内容の発表報告及び情報発信
- 9月：○全校研究会 研究発表会指導案作成・検討及び教材開発
- 10月：○授業研究会 高学年（6年生）による外国語授業研究会
○授業研究会 中学年（3年生及び4年生）による外国語活動授業研究会
高学年（6年生）による外国語授業研究会
○先進校視察及び県内研修校研究発表会参加
○中学校区における小中学校合同の授業研究会
- 11月：○全校研究会 研究発表会指導案検討・完成及び教材開発
研究発表会に係る冊子の作成
○研究発表会 低学年、中学年、高学年による外国語及び外国語活動授業研究会
講師：文部科学省初等中等教育局 教育課程課・国際教育課 教科調査官
国立教育政策研究所 教育課程研究センター 教育課程調査官
直山 木綿子 先生
○先進校視察及び県内研修校研究発表会参加
- 12月：○全校研究会 研究発表会の振り返り及び来年度の方向について
○先進校視察及び県内研修校研究発表会参加
- 1月：○全校研究会 研究発表会の成果と課題を受けた、年間カリキュラムの改善
○先進校視察及び県内研修校研究発表会参加
- 2月：○町外国語活動指定公表会における研究内容の発表報告及び情報発信
○先進校視察及び県内研修校研究発表会参加
- 3月：○全校研究会 次年度の方向の共通理解
児童にとって魅力的な教材・教具の開発
本年度の研究のまとめ作成
○授業研究会 高学年（5年生）による授業研究会（他教科における外国語活動の成果の検証）
○先進校視察及び県内研修校研究発表会参加

※年間を通して、教師及び児童のクラスルーム・イングリッシュ及びスモール・トーク（ペアでの対話活動）に係る研修を実施した。

※年間を通して、モーニング・モジュールを位置付け、朝の会の前に英語を使った活動（英語の歌、ゲーム、スピーチ等）を位置付け、英語に慣れ親しむことができた。

※年間を通して、外国語及び外国語活動に係る研究推進委員会が中核となり、率先垂範して授業公開を行ったり、研究の方向付けを明確にしたりするなど、イニシアティブを発揮した。

2 成果及び子どもたちへの効果

- ・他教科及び他領域につながる外国語及び外国語活動を通して、生き生きとコミュニケーションを図る子どもの姿が生まれ、自己肯定感と自己有用感をもった子どもが育成されつつある。
- ・モーニング・モジュールなど、日常的に英語に触れる機会を位置付けたことを通して、英語の学習に興味をもち、積極的に英語を使おうとする子どもの姿が生まれ、英語に慣れ親しむことができています。
- ・「いつでも」「どこでも」「どの学校」「どの教員」でも実践できる外国語及び外国語活動のモデルを示すことを通して、研究発表会において県内及び全国に向けて実践を発信することができた。
- ・外国語に係る職員研修及び現職研修を系統的・発展的に位置付けたことを通して、英語の免許をもたない教員でも自信をもって英語を使い、笑顔で授業を実践することができるようになってきた。